

Kenko



ケンコー  
デジタルムービーカメラ

**VS-FUN II**

取扱説明書

このたびはデジタルムービーカメラ「VS-FUN II」を  
ご購入いただき、ありがとうございます。  
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、  
安全に正しくお使いください。  
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>03</b>	<b>機能設定</b> .....	<b>24</b>	<b>静止画のプリント</b> .....	<b>49</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>04</b>	動画メニュー.....	24	静止画のプリント.....	49
<b>カメラの紹介</b> .....	<b>06</b>	動画サイズ.....	24	<b>テレビとの接続</b> .....	<b>50</b>
セット内容.....	06	EV補正.....	25	テレビとの接続.....	50
各部の名称.....	07	ホワイトバランス.....	25	<b>パソコンとの接続</b> .....	<b>51</b>
<b>ご使用の前に</b> .....	<b>8</b>	手ぶれ軽減.....	26	パソコンへ接続する.....	51
アルカリ乾電池に関する安全上の注意.....	8	静止画メニュー.....	27	転送時のご注意.....	52
乾電池の取り付け.....	9	静止画サイズ.....	27	マストレージ.....	52
電源のオン/オフ.....	10	画質.....	28	<b>ソフトウェアのインストール</b> .....	<b>53</b>
SD/SDHCメモ리카ード(別売)を使用する場合.....	11	シーンモード.....	29	付属ソフトウェアの説明.....	53
SD/SDHCメモ리카ード(別売)を取り付ける.....	11	EV補正.....	30	Media Impression.....	53
SD/SDHCメモ리카ードを使用する前に.....	12	ホワイトバランス.....	30	Direct X9.....	53
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない.....	12	ISO感度.....	30	付属アプリケーションのインストール.....	53
メモリのフォーマット.....	13	色効果.....	31	Media Impressionのインストール方法.....	53
<b>動画モード</b> .....	<b>14</b>	彩度.....	31	Direct X9のインストール方法.....	55
動画の撮影.....	14	シャープネス.....	32	<b>ソフトウェアを使用する</b> .....	<b>56</b>
動画モードの操作画面.....	15	セルフタイマ.....	32	Media Impressionを使用する.....	56
撮影距離.....	16	日付プリント.....	33	動画ファイルの再生.....	56
ズーム撮影.....	16	連写.....	33	静止画ファイルの再生.....	56
<b>静止画モード</b> .....	<b>17</b>	顔認識.....	34	動画ファイルの取り込み.....	57
静止画の撮影.....	17	再生メニュー.....	35	静止画ファイルの取り込み.....	57
撮影距離.....	17	削除.....	35	<b>トラブルシューティング</b> .....	<b>58</b>
ズーム撮影.....	17	〈1枚〉を選択する場合.....	35	カメラ操作時のトラブル.....	58
内蔵フラッシュの使用.....	18	〈全て〉を選択する場合.....	36	<b>仕様</b> .....	<b>59</b>
静止画モードの操作画面.....	19	〈選択〉を選択する場合.....	36	記録可能時間/枚数の目安.....	59
<b>再生モード</b> .....	<b>20</b>	スライドショー(自動再生).....	37	動画.....	59
ファイルの再生.....	20	保護.....	38	静止画.....	59
ファイルのサムネイル表示.....	20	〈1枚〉を選択する場合.....	38	仕様.....	60
動画の再生.....	21	〈全て〉を選択する場合.....	39	パソコンの動作環境.....	61
動画再生モードの操作画面.....	21	〈選択〉を選択する場合.....	39	<b>保証規定</b> .....	<b>62</b>
静止画の再生.....	22	サムネイル表示.....	40		
静止画再生モードの操作画面.....	23	音量.....	41		
		基本設定メニュー.....	42		
		フォーマット.....	42		
		表示言語.....	42		
		自動電源オフ.....	43		
		リセット.....	44		
		電源周波数.....	45		
		テレビ出力方式.....	46		
		日付/時刻の設定.....	47		
		ビープ音の設定.....	48		

# はじめに

このたびは、デジタルムービーカメラ「VS-FUN II」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。



## 安全上のご注意

必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	 警告	 注意
この指示に従わないで誤った取扱を すると、人が死亡または重傷を負う切 迫した危険の発生が想定される内容 です。	この指示に従わないで誤った取扱を すると、人が死亡または重傷を負う可 能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱を すると、人が障害を負う可能性または、 物的損害が生じる可能性が想定され る内容です。

### 危険

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

### 警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内で）フラッシュを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因となります。



## 安全上のご注意

必ずお読みください。

### 警告

- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

### 注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火の近く
  - 湿ったところ
  - 振動の激しい場所
  - 温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。
- カメラを落としたりぶつかけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

## その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により時間/枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニングクロスで拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な映像を撮影することができません。
- ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。



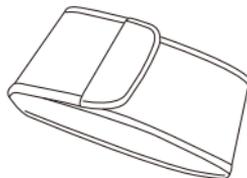
# カメラの紹介

## 📁 セット内容

パッケージに、以下のセット内容が揃っているかご確認ください。



カメラ本体  
(ハンドストラップ取付済み)



ポーチ



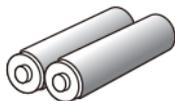
取扱説明書(本書)



USB-PC/TV接続ケーブル



CD-ROM  
(パソコンのソフトウェアが入っています)



単3形アルカリ乾電池(2本)

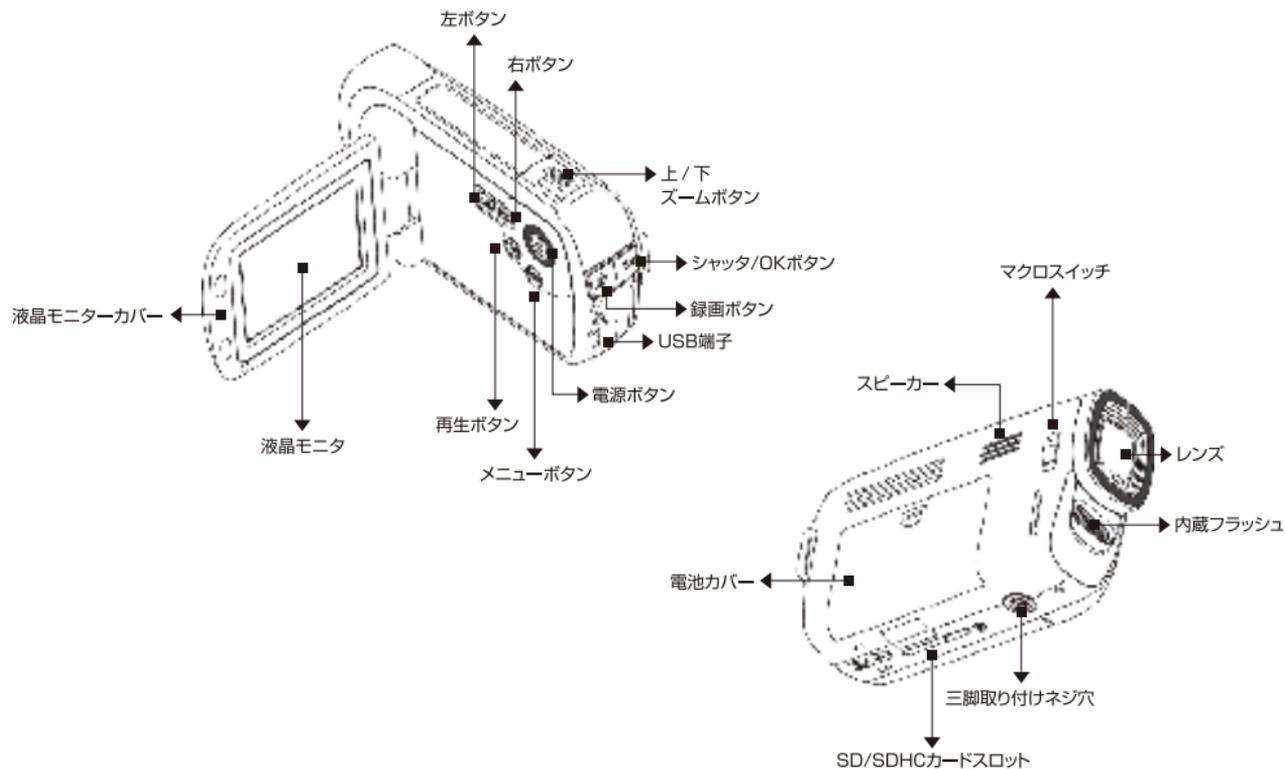


クイックスタートガイド



# カメラの紹介

## 各部の名称





## ご使用の前に

### ▶ アルカリ乾電池に関する安全上の注意 (対象:アルカリ乾電池使用カメラ)



**警告** 付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向にセットしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。  
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間(およそ1ヶ月以上)カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

### ▶ リチウムイオン充電電池に関する安全上の注意 (対象:リチウムイオン充電電池使用カメラ)



**警告** 付属のリチウムイオン充電電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器(ACアダプタ)以外で充電しないでください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向にセットしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。  
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電電池をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



**Li-ion**

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで  
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

#### ● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

- － プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- － 皮覆をはがさないでください。
- － 分解しないでください。



## ご使用の前に

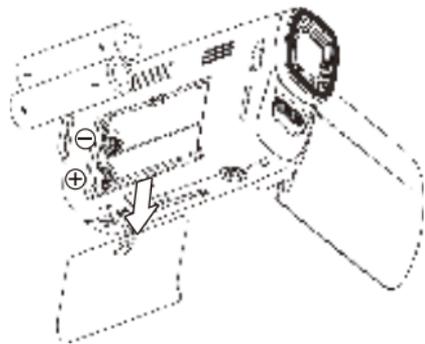
### ▶ 乾電池の取り付け

カメラに単3形アルカリ乾電池をセットします。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。

電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. 電池カバーを矢印の方向にスライドさせ、電池カバーを取り外します。
2. ⊕⊖方向を確認して、単3形アルカリ乾電池をセットします。
3. 電池カバーを矢印の反対方向にスライドさせ、電池カバーを閉じます。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は⊕⊖方向に注意し、正しくセットしてください。



◆ 電池残量については、液晶モニタ上のバッテリーアイコンに表示されます。

▣ 電池残量は充分です。

▣ 電池残量は約半分です。

▣ 電池残量がわずかです。予備の電池を用意してください。

◆ 単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池をご使用ください。

ニッケル水素充電電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。

◆ オキシライド乾電池は初期電圧が高く、カメラ本体を破損する恐れがあるため、使用できません。

◆ 電池をカメラの中に入れてそのまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間使用しないときは電池を取り出してください。

◆ カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン電池は、使用できません。

◆ 電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。

カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。



## ご使用の前に

### ▶ 電源のオン／オフ

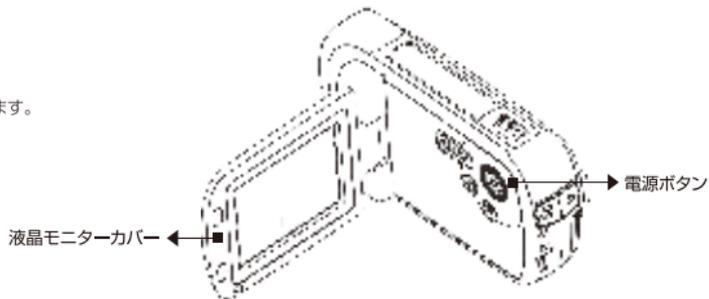
液晶モニターカバーを開きます。

電源ボタンを約1秒押します。電源がオンになり液晶モニタが表示されます。

液晶モニターカバーを約15秒以上閉じると、電源が自動的に切れます。

または、電源ボタンを約1秒押すとオフになります。

再度、電源ボタンを押すとオンになります。



- 初めてお使いの場合、最初に日付と時刻を合わせてください。詳しくはP.47「日付／時刻の設定」をご覧ください。

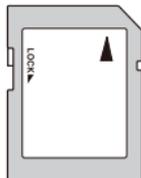


## ご使用の前に

### ▶ SD/SDHCメモ리카ード(別売)を使用する場合

本製品で撮影した画像は、SDメモ리카ードに記録されます。  
SDメモ리카ード(別売)をカメラ底面のSD/SDHCカードスロットにセットしてください。  
動画・静止画撮影をすると自動的にSDメモ리카ードに記録されます。

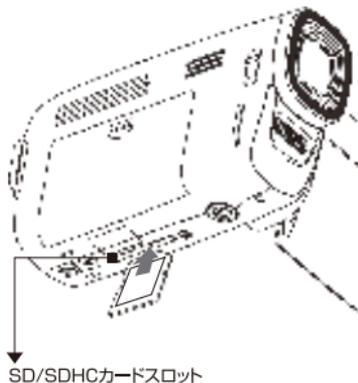
SDメモ리카ード



- このカメラに使用できるメモ리카ードの仕様は、SDメモ리카ード32MB~2GB、SDHCメモ리카ード8GBまでです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。
- 内蔵メモリのユーザ使用可能領域はありません。

### ▶ SD/SDHCメモ리카ード(別売)を取り付ける

SDメモ리카ードはカメラ底面のSDメモ리카ードスロットにセットします。



1. SDメモ리카ードの接触面が下になるようにして、SDメモ리카ードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
2. SDメモ리카ードを取り外す時は、SDメモ리카ードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。SDメモ리카ードが少し飛び出ます。



- ◆新しいSDメモ리카ードを使用される際は、あらかじめSDメモ리카ードの初期化(P.13参照)をしてください。
- ◆撮影した画像に付けられるファイル名の番号(PICT XXXX)は、SDメモ리카ード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。  
番号をリセットする場合は、カメラのフォーマット機能(P.13参照)でカードを初期化してください。



- 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- SDメモ리카ードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- すべてのSDメモ리카ードで動作を保証するものではありません。

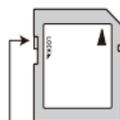


## ご使用の前に

### SD/SDHCメモリカードを使用する前に



- ◆新しいSDメモリカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモリカードをセットすると、カメラはSDメモリカードを認識します。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.3～5に記載されていますので必ずよくお読みください。
  - パソコンに接続、データ転送中や、撮影/再生中にSDメモリカードを引き抜かない  
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
  - SDメモリカードのフォーマット(初期化)はカメラで  
本製品にはSDメモリカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。  
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
  - ライトプロテクトスイッチについて  
SDメモリカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリカードはロックされ、SDメモリカードへの記録/消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録/消去する場合はロックを解除してください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ライトプロテクト  
スイッチ

### ファイル名/ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDメモリカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



## ご使用の前に

### ▶ メモリのフォーマット

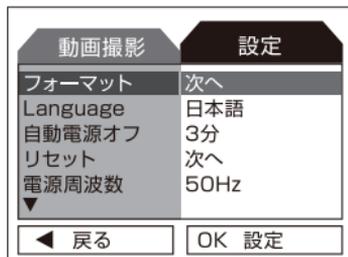
メモリをフォーマット(初期化)する機能です。



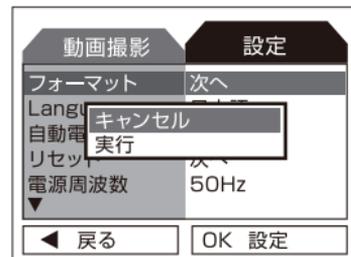
- SDメモ리카ードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモ리카ードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモ리카ードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。  
(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモ리카ードのライトプロテクトスイッチ(P.12参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. カメラの電源ボタンを押して電源をオンにします。動画モードで起動します。
2. メニューボタンを押します。
3. 右ボタンを押して「設定」を選択します。
4. ズームボタンをWまたはT側に押し、「フォーマット」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。
5. ズームボタンをWまたはT側ボタンを押して、  
「キャンセル」または「実行」のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押します。  
キャンセル：フォーマットしません。  
実行：フォーマットします。
6. 再度メニューボタンを押すと撮影画面に戻ります。

4.



5.

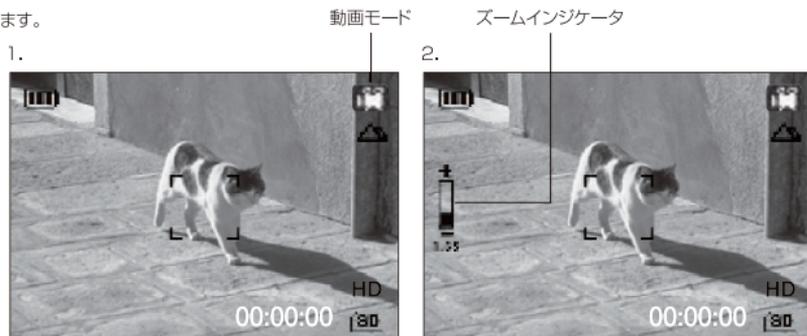




## 動画モード

### ▶ 動画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。  
本機は「動画モード」で起動します。
2. 液晶モニターで、被写体を捉え、必要に応じてズームを使用し構図を決めます。
3. 録画ボタンを押して、録画を開始します。
4. 録画ボタンをもう一度押すと録画を停止します。
5. 動画は、個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。

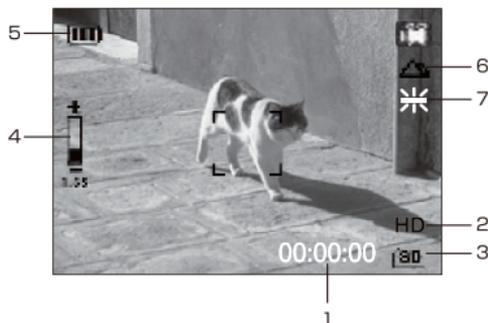


- ◆ 1ファイルの最大容量は、VGA/D1/HDの場合4GB、QVGAの場合は2GBです。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



## 動画モード

### 📺 動画モードの操作画面



1	00:00:00	白文字表示:動画撮影可能時間(目安) 赤文字表示:撮影経過時間
2	HD	動画サイズ P.24をご覧ください。 QVGA VGA D1 HD
3		メモリ表示 : SDメモ리카ードセット中 : SDメモ리카ードが セットされていません。
4		ズームインジケータ
5		電池残量
6		撮影距離 : 標準撮影 : マクロ(近接)撮影
7		ホワイトバランス (自動の場合は表示されません)



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



## 動画モード

### 📷 撮影距離

マクロ(近接)モードでは、被写体に約11~18cmまで近づいて撮影することができます。  
動画または静止画撮影時、マクロスイッチを👉にし、マクロ機能を有効にします。  
マクロモード時、液晶モニタにアイコン👉が表示されます。

標準撮影距離：約0.8m~∞

マクロモード：約11~18cm



### 📷 ズーム撮影

デジタル8倍のズームが搭載されています。  
ズームボタンのT側に押すと、ズームイン(拡大)します。  
ズームボタンのW側に押すと、ズームアウト(縮小)します。



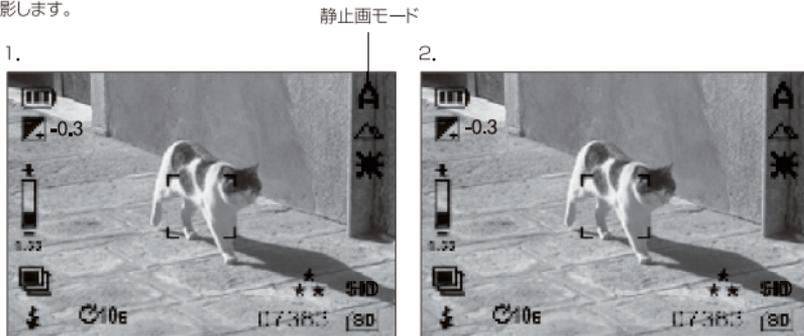
- ズームの倍率が大きくなると解像度は低下します。



# 静止画モード

## ▶ 静止画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。動画モードで起動しますが、シャッター/OKボタンを押すと静止画モードになります。
2. 液晶モニターで、被写体を確認し、必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
3. カメラをしっかり構えてシャッター/OKボタンを押して撮影します。
4. 静止画は、個別のファイル名が付いて保存されます。



●動画モードでシャッター/OKボタンを押すと「静止画モード」になります。



◆設定により表示されるアイコンは異なります。

## 📷 撮影距離

P.16「撮影距離」をご覧ください。

## 📷 ズーム撮影

P.16「ズーム撮影」をご覧ください。



## 静止画モード

### 内蔵フラッシュの使用

暗い場所での撮影時に使用します。

左ボタンを押すごとにフラッシュのモードを選択できます。

**⚡** 自動発光：被写体周辺の光量が不足の場合、自動的に発光します。

**⚡** 強制発光：どんな状況でも発光します。逆光等での撮影時におすすめします。

**🚫** 発光禁止：どんな状況でも発光しません。(初期設定)

博物館・動物園等、フラッシュが禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている場合におすすめします。

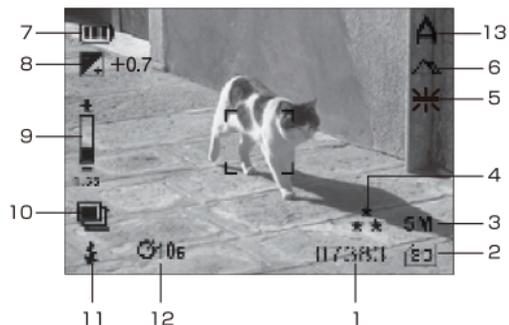


- 内蔵フラッシュの有効範囲はおよそ1~2mです。  
試し撮りして被写体まで光が届いているかご確認ください。
- **⚡** または **⚡** アイコンが点滅している間は、充電中ですのでシャッター/OKボタンは押せません。
- 静止画専用メニューです。
- 電源をオフにすると初期設定(発光禁止)に戻ります。



# 静止画モード

## 静止画モードの操作画面



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1	07383	撮影可能枚数(目安)
2		メモリ表示 :SDメモリカードセット中 :SDメモリカードがセットされていません。
3	5M	静止画サイズ VGA :約30万画素 3M :約300万画素 5M :約500万画素 8M :約800万画素(ファームウェア補間) 12M :約1200万画素(ファームウェア補間)
4		画質
5		ホワイトバランス
6		撮影距離 :標準撮影 :マクロ撮影
7		電池残量
8		EV補正
9		ズームイン/ジケータ
10		撮影モード
11		フラッシュモード
12		セルフタイマ
13		シーンモード



# 再生モード

## 再生モード

再生ボタンを押して「再生モード」にします。  
最後に撮影された動画・静止画が液晶モニタに表示されます。  
動画の場合、最初のシーンが静止表示されます。

## 再生モード時のサムネイル表示

再生モード時、ズームボタンで9画面のサムネイル表示されます。

1. 「再生モード」にします。
2. メニューボタンを押して、ズームボタンのWまたはT側に押して「サムネイル」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。
3. 液晶モニタに9画面のサムネイル表示されます。  
動画ファイルには「再生マーク」が表示され、最初のシーンが表示されます。
4. ズームボタンをWまたはT側に押すか、左/右ボタンを押して画像を選択し(黄色の枠を移動)、シャッター/OKボタンを押すと1画面表示に戻ります。

2.

再生	設定
削除	次へ
スライドショー	3秒
保護	次へ
サムネイル	実行
音量	5
▼	
◀ 戻る1	OK 設定

3.

動画ファイル  
アイコン



◆ 動画と静止画を表示・再生します。



# 再生モード

## ▶ 動画の再生

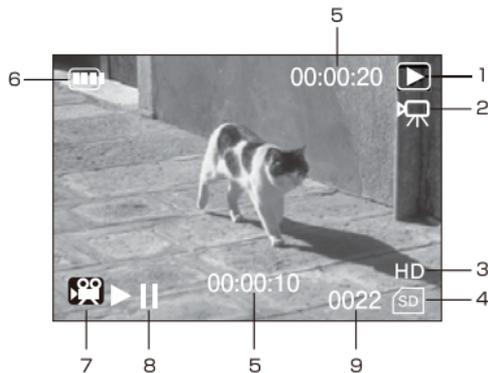
動画を再生します。

1. 「再生モード」 に設定します。
2. 左または右ボタンを押して再生したい動画ファイルを選択します。  
動画ファイルには「 マーク」が表示され、最初のシーンが表示されます。
3. 録画ボタンを押すと再生します。もう一度録画ボタンを押すと再生が一時停止します。
4. 再生中に左ボタンを押すと、早戻りされます。
5. 再生中に右ボタンを押すと早送りされます。  
押すたびに早送りの速度が「倍速(2×)」「4倍速(4×)」「8倍速(8×)」へ変更されます。
6. ズームボタンをW側に押すとファイル情報が表示されます。再度W側に押すとファイル情報が消えます。
7. 再生中にズームボタンをW側に押すとファイルの最初のシーンに戻ります。

6.



## ▶ 動画再生モードの操作画面



1		再生モード
2		動画ファイル
3	HD	動画サイズ
4		メモリ表示 : SDメモ리카ードセット中 : SDメモ리카ードが セットされていません。
5	00:00:20 00:00:10	黄文字表示:動画録画時間 白文字表示:再生経過時間
6		電池残量
7		動画ファイル
8		再生/一時停止
9	0022	ファイル番号



## 再生モード

### 🔍 静止画の再生

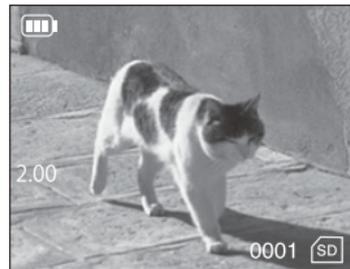
静止画を再生します。

1. 「再生モード」に設定します。
2. 左または右ボタンを押して再生したい静止画を選択します。
3. 再生中にズームボタンをW側へ押すと、静止画のファイル情報が表示されます。再度、W側へ押すと、ファイル情報が消えます。
4. ズームボタンをT側へ押すと写真が拡大表示されます。8倍まで拡大表示し、ズームボタンをW側へ押すと、縮小表示に変わります。
5. 拡大表示の時、録画ボタンを押すと液晶モニタに上下左右4つの矢印キーが表示されます。
6. 録画ボタンを押すと下へ、シャッター/OKボタンを押すと上へ、左ボタンを押すと左へ、右ボタンを押すと右へ拡大位置を移動します。
7. 再生ボタンを押すと、動画モードに戻ります。

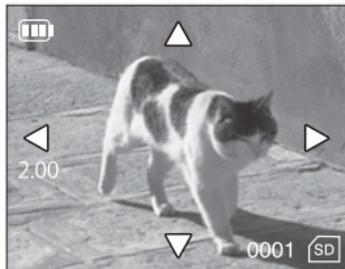
3.



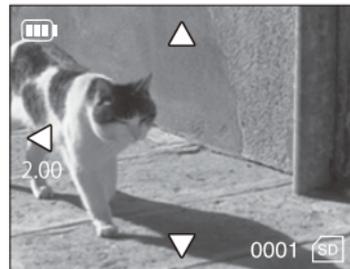
4.



5.



6.

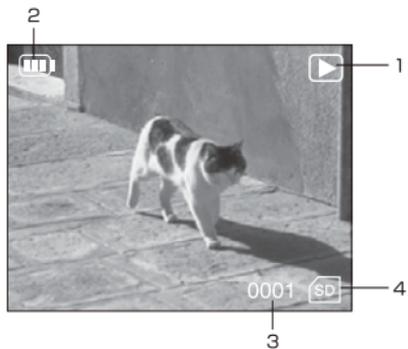


- ◆ ファイル情報、拡大・縮小は静止画専用の機能です。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



## 再生モード

### ☞ 静止画再生モードの操作画面



1		再生モードアイコン
2		電池残量
3	0001	ファイル番号
4		メモリ表示 :SDメモ리카ードセット :SDメモ리카ードが セットされていません。



## ▶ 動画メニュー

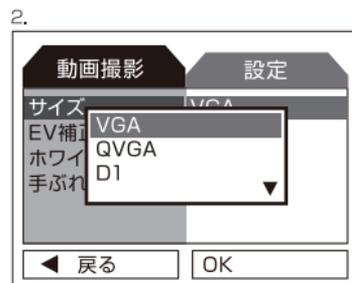
動画モードの基本設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 「動画モード 」で起動します。
3. メニューボタンを押します。
4. ズームボタンをWまたはT側に押して項目を選択します。

### ⓧ 動画サイズ(初期設定:VGA)

撮影する動画の撮影サイズを設定します。

1. 「サイズ」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押して、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 VGA : 640×480 (30fps)  
 QVGA : 320×240 (30fps)  
 D1 : 720×480 (30fps)  
 HD : 1280×720 (30fps)
3. メニューボタンを押すと、動画撮影画面に戻ります。



設定



- サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、同じSDメモリーカードで撮影できる時間が短くなります。
- 1280×720はHDサイズですが、標準画質になります。

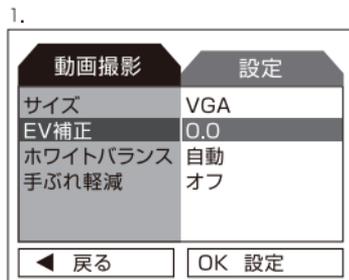


## 機能設定 動画メニュー

### EV補正(初期設定:0.0)

手動で露出を補正します。  
 モニタで被写体が明るい場合はマイナスへ。  
 暗い場合はプラス方向へ調整します。

1. 「EV補正」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンのWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 選択可能な露出は  
 +2.0、+1.7、+1.3、+1.0、+0.7、+0.3、0.0  
 -0.3、-0.7、-1.0、-1.3、-1.7、-2.0、です。

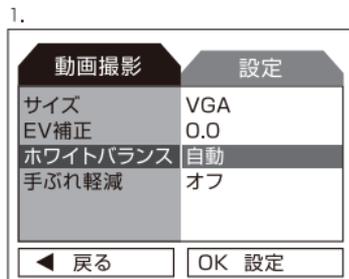


- ◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。
- ◆ 右ボタンを押してもEV補正ができません。  
 動画モードまたは静止画モード時に右ボタンを押すと、2.の表示になり、設定ができます。

### ホワイトバランス(初期設定:自動)

オートでの色調が思わしくない場合、手動で希望の色調に近づけます。

1. 「ホワイトバランス」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンのWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 自動 : 自動的に調整されます。  
 晴れ : 屋外の太陽下の撮影に適しています。  
 曇り : 屋外で曇りあるいは日陰での撮影に適しています。  
 白熱灯 : 屋内で電球下での撮影に適しています。  
 蛍光灯 : 屋内で蛍光灯下での撮影に適しています。
3. メニューボタンを押すと、動画撮影画面に戻ります。





## 機能設定 動画メニュー

### ☒ 手ぶれ軽減(初期設定:オフ)

手ぶれを軽減します。この機能は電子式です。

1. 「手ぶれ軽減」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
オン：手ぶれを補正します。  
オフ：手ぶれを補正しません。
3. メニューボタンを押すと、動画撮影画面に戻ります。

1.

動画撮影	設定
サイズ	VGA
EV補正	0.0
ホワイトバランス	自動
手ぶれ軽減	オフ

◀ 戻る      OK 設定

2.

動画撮影	設定
サイズ	VGA
EV補正	0.0
ホワイト	オン
手ぶれ	オフ

◀ 戻る      OK 設定



◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。



## ▶ 静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

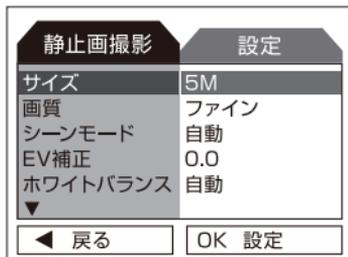
1. カメラの電源をオンにします。
2. シャッター/OKボタンを押して、「静止画モード」にします。
3. メニューボタンを押します。
4. ズームボタンをWまたはT側に押して項目を選択します。

## 🔍 静止画サイズ(初期設定:5M)

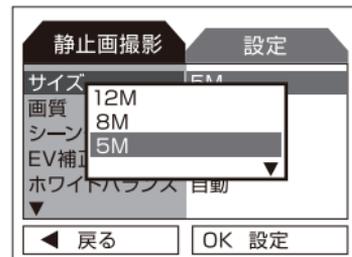
静止画の撮影サイズを設定します。

1. 「サイズ」を選択し、  
シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、  
下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
12M : 約1200万画素 (ファームウェア補間)  
8M : 約800万画素 (ファームウェア補間)  
5M : 約500万画素  
3M : 約300万画素  
VGA : 約30万画素
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.



2.



● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、同じSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。



## 機能設定 静止画メニュー

### 画質(初期設定:ファイン)

撮影する画質を設定します。

1. 「画質」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 ファイン：高画質で撮影します。  
 標準：標準画質で撮影します。  
 エコノミ：画質より、より多くの枚数を撮影したい場合に選択します。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.

静止画撮影	設定
サイズ	5M
画質	ファイン
シーンモード	自動
EV補正	0.0
ホワイトバランス	自動
▼	
◀ 戻る	OK 設定

2.

静止画撮影	設定
サイズ	5M
画質	ファイン 標準 エコノミ
シーンモード	
EV補正	
ホワイトバランス	オート
▼	
◀ 戻る	OK 設定



● 高画質にするとデータ容量が大きくなり、同じSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。



## 機能設定 静止画メニュー

### 📷 シーンモード(初期設定:自動)

撮影するシーンを設定し、  
より簡単に雰囲気のある写真を撮影します。

1. 「シーンモード」を選択し、  
シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、  
下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 自動 : 自動で最適に調整します。  
 スポーツ : スポーツの撮影に適しています。  
 夜景 : 夜景の撮影に適しています。  
 ポートレイト : 人物の撮影に適しています。  
 風景 : 風景の撮影に適しています。  
 逆光 : 逆光時の撮影に適しています。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.

静止画撮影	設定
サイズ	5M
画質	ファイン
シーンモード	自動
EV補正	0.0
ホワイトバランス	自動
▼	
◀ 戻る	OK 設定

2.

静止画撮影	設定
サイズ	5M
画質	自動
シーン	スポーツ
EV補正	夜景
ホワイトバランス	オート
▼	
◀ 戻る	OK 設定



◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。



## 機能設定 静止画メニュー

### EV補正(初期設定:0.0)

動画と同様です。P.25をご覧ください。

### ホワイトバランス(初期設定:自動)

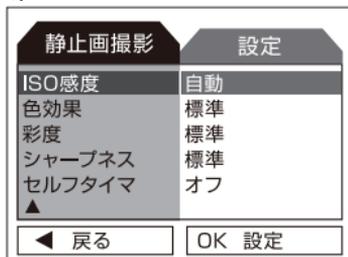
動画と同様です。P.25をご覧ください。

### ISO感度(初期設定:自動)

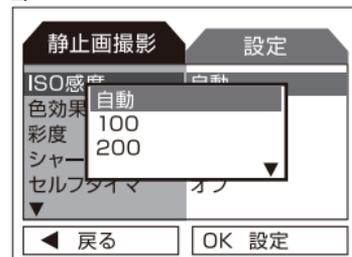
手動でISO感度を変更する場合に設定します。

- 「ISO感度」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
- ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
自動：自動で設定されます。  
100：屋外での晴天時の撮影に適しています。  
200：屋外での曇天または明るい室内の撮影に適しています。  
400：屋内での撮影に適しています。
- メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.



2.



- ◆上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら設定してください。
- ◆感度を上げると画像にノイズが発生する場合がありますのでご注意ください。



## 機能設定 静止画メニュー

### 色効果(初期設定:標準)

色効果を加えることで、印象の異なる写真にします。

1. 「色効果」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
標準 : 効果を加えません。  
ビビット : 色鮮やかな画像にします。  
セピア : セピア画像にします。  
白黒 : 白黒画像にします。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

2.

静止画撮影	設定
ISO感度	自動
色効果	標準
彩度	標準
シャープネス	標準
セルフタイマ	オフ

◀ 戻る      OK 設定

3.

色効果	
標準	
ビビット	
セピア	
白黒	

◀ 戻る      OK 設定

### 彩度(初期設定:標準)

撮影する静止画の彩度(色の鮮やかさ)を設定します。

1. 「彩度」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
高 : 彩度を高めた静止画に仕上がります。  
標準 : 効果を加えません。  
低 : 彩度を抑えた静止画に仕上がります。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

2.

静止画撮影	設定
ISO感度	自動
色効果	標準
彩度	標準
シャープネス	標準
セルフタイマ	オフ

◀ 戻る      OK 設定

3.

彩度	
高	
標準	
低	

◀ 戻る      OK 設定



## 機能設定 静止画メニュー

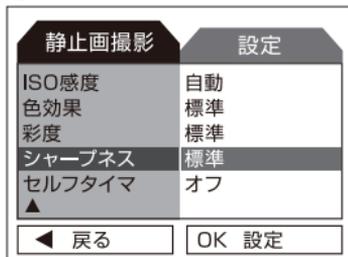
### シャープネス(初期設定:標準)

撮影する静止画の鮮鋭度を設定します。

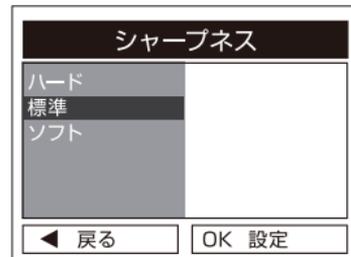
1. 「シャープネス」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 ハード : 撮影した画像の輪郭をよりはっきりと強調します。  
           ノイズが強くなることがあります。  
 標準 : 効果を加えません。  
 ソフト : 撮影した画像の輪郭を滑らかにします。  
           PCでの画像編集に適しています。

3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.



2.



### セルフタイマ(初期設定:オフ)

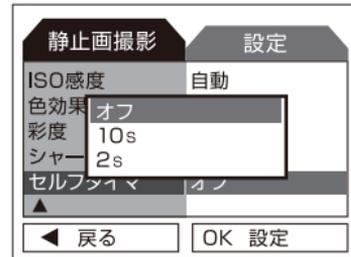
セルフタイマでの撮影を設定します。

1. 「セルフタイマ」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
  2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 オフ : セルフタイマを使用しません。  
 10s : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。  
 2s : シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.



2.



◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。



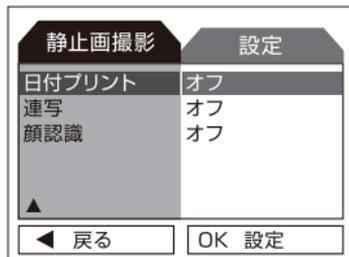
## 機能設定 静止画メニュー

### ☒ 日付プリント(初期設定:オフ)

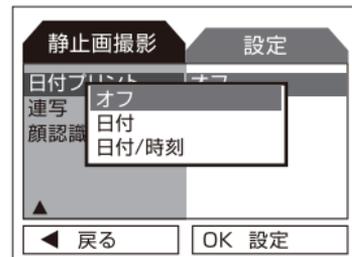
撮影する静止画に日付をプリントする設定をします。

1. 「日付プリント」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 オフ : 日付プリントを設定しません。  
 日付 : 年月日のプリントを設定します。  
 日付/時刻 : 年月日/時刻のプリントを設定します。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.



2.



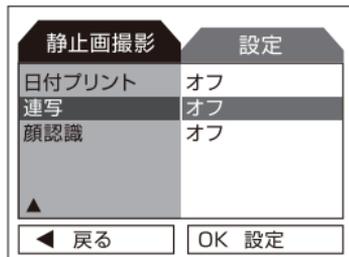
◆ 設定により日付/時刻の一部が欠ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### ☒ 連写(初期設定:オフ)

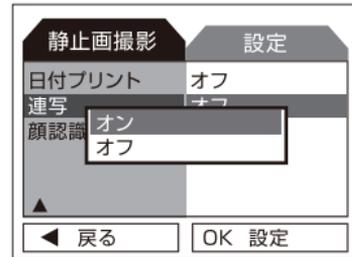
シャッターを一回押すと約1秒間に3枚の静止画を撮影します。

1. 「連写」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 オン : 3枚連写します。  
 オフ : 1枚撮影します。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.



2.



◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。



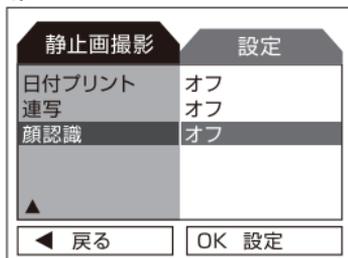
## 機能設定 静止画メニュー

### 顔認識(初期設定:オフ)

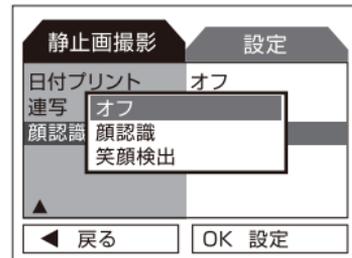
カメラが顔または笑顔を認識してシャッターチャンスを見逃しません。

1. 「顔認識」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
 オフ : 顔認識または笑顔検出を設定しません。  
 顔認識 : 顔を認識すると白いフレームが表示されます。  
 笑顔検出 : 笑顔を検出すると自動的にシャッターが下がります。
3. メニューボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。

1.



2.



- ◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。
- ◆ 撮影条件により顔認識および笑顔検出をしない場合があります。



## 再生メニュー

再生モードの基本設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押して「再生モード」にします。
3. メニューボタンを押します。
4. ズームボタンをWまたはT側に押して項目を選択します。

### 削除(ファイルの削除)

動画・静止画ファイルを削除します。

1. 「削除」を選択し、シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、「1枚」「全て」「選択」のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押します。
  - 1枚：表示されているファイルを削除します。
  - 全て：すべてのファイルを削除します。
  - 選択：9画面サムネイル表示されます。削除するファイルをサムネイル表示の中から選択します。

#### 〈1枚〉を選択する場合

- A-1. あらかじめ削除するファイルを表示してメニューボタンを押します。
- A-2. 「削除」を選択し、シャッター/OKボタンを押してから「1枚」を選択します。
- A-3. シャッター/OKボタンを押すと表示されたファイルを消去します。
- A-4. 削除を取消す場合は左ボタンを押して再生メニューに戻ります。

3.



A-2.





## 機能設定 再生メニュー

### ☒ 〈全て〉を選択する場合

B-1. 「全て」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。

B-2. ズームボタンをWまたはT側に押し、  
下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。

キャンセル：削除しません。

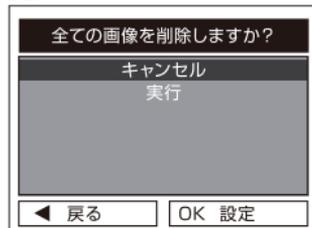
実行：全てのファイルを削除します。

B-3. 録画ボタンを押して撮影画面に戻ります。

B-1.



B-2.



### ☒ 〈選択〉を選択する場合

C-1. 「選択」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。

C-2. 9画面のサムネイル画面が表示されます。

C-3 ズームボタンWまたはT側に押すか、左または右ボタンを押して  
黄色の枠を移動して削除するファイルを選択し、  
シャッター/OKボタンを押して決定します。  
再生モードに戻ります。

C-4. 削除を取消す場合は録画ボタンまたは再生ボタンを押します。

C-1.



C-2.



- ファイルは、一度削除すると元に戻せません。削除する前によく確認し、必要に応じてバックアップを取ってください。



## 機能設定 再生メニュー

### ☒ スライドショー(自動再生)(初期設定:3秒)

静止画再生モードにはスライドショー機能が用意されています。  
全ての静止画を一定間隔で順次表示することができます。

1. 「スライドショー」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。
2. ズームボタンの左または右ボタンを押し、  
下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
3秒：約3秒間隔で全ての静止画を表示します。  
5秒：約5秒間隔で全ての静止画を表示します。  
10秒：約10秒間隔で全ての静止画を表示します。
3. スライドショーを終了する場合は録画ボタンまたは再生ボタンを押します。

1.

再生	設定
削除	次へ
スライドショー	3秒
保護	次へ
サムネイル	実行
音量	5

◀ 戻る      OK 設定

2.

再生	設定
削除	次へ
スライドショー	3秒
保護	5秒
サムネイル	10秒
音量	5

◀ 戻る      OK 設定



◆ 動画も最初のシーンが静止した画面でスライドショーされます。



## 機能設定 再生メニュー

### 保護

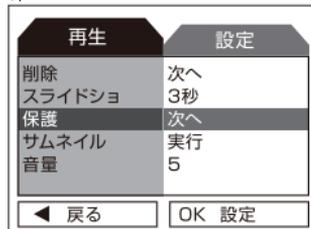
誤って削除されないようにファイルを保護します。

1. 「保護」を選択し、シャット/OKボタンを押します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、  
下記のいずれかを選択し、シャット/OKボタンを押します。  
1枚：表示されているファイルを保護します。  
全て：すべてのファイルを保護します。  
選択：9画面サムネイル表示されます。  
保護するファイルをサムネイル表示の中から選択します。
3. 保護されたファイルは アイコンが表示されます。

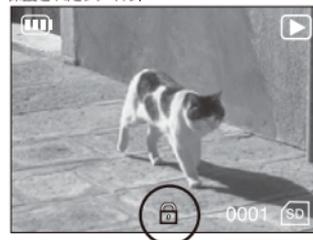
### 〈1枚〉を選択する場合

- A-1. あらかじめ保護するファイルを表示してメニューボタンを押します。
- A-2. 「保護」を選択し、シャット/OKボタンを押してから  
「1枚」を選択します。
- A-3. シャット/OKボタンを押してからズームボタンをWまたは  
T側に押して「設定」「キャンセル」のいずれかを選択し、  
シャット/OKボタンを押して決定します。
- 設定：表示されたファイルを保護します。
- キャンセル：ファイルを保護しません。  
保護したファイルの場合、保護を解除します。
- A-4. 左ボタンを押して再生メニューに戻ります。

1.



保護されたファイル。



2.



A-3.





## 機能設定 再生メニュー

### ☒ 〈全て〉を選択する場合

B-1. 「全て」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。

B-2. ズームボタンをWまたはT側に押して「設定」「キャンセル」のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。

設定 : 全てのファイルを保護します。

キャンセル: ファイルを保護しません。

保護されたファイルがあった場合、  
全ての保護を解除します。

B-2.



### ☒ 〈選択〉を選択する場合

C-1. 「選択」を選択します。

C-2. 9画面のサムネイル画面が表示されます。

C-3. ズームボタンをWまたはT側に押すか、左または右ボタンを押して黄色の枠を移動して保護するファイルを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。

C-4. 続けて他のファイルも保護する場合は、黄色の枠を移動して保護するファイルを選択し、シャッター/OKボタンを押します。保護されたファイルを選択し、シャッター/OKボタンを押すと、保護を解除します。

C-5. 保護を終了する場合は、録画ボタンまたは再生ボタンを押します。

C-3.



- 保護されたファイルには  アイコンが表示されます。
- 保護されたファイルもフォーマットすると削除されますのでご注意ください。



## サムネイル表示

サムネイル(9画面)表示することができます。選択して一画面表示することができます。

1. 「サムネイル」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。
2. 9画面のサムネイル画面が表示されます。
3. ズームボタンをWまたはT側へ押すか、左または右ボタンを押して黄色の枠を移動して一画面表示するファイルを選択します。
4. シャッター/OKボタンを押します。一画面表示されます。

1.

再生	設定
削除	次へ
スライドショ	3秒
保護	次へ
サムネイル	実行
音量	5

◀ 戻る      OK 設定

3.



- ◆ 静止画、動画ファイルが同時に表示されます。
- ◆ 動画ファイルは撮影された最初のシーンが静止して表示されます。



## 機能設定 再生メニュー

### 音量(初期設定:5)

動画ファイルの再生時の音量を調整します。

1. 「音量」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。
2. ズームボタンをWまたはT側に押し、音量を調整しシャッター/OKボタンを押して決定します。
3. 左ボタンを押して再生画面に戻ります。

1.

再生	設定
削除	次へ
スライドショ	3秒
保護	次へ
サムネイル	実行
音量	5
◀ 戻る      OK 設定	

2.

再生	設定
削除	4
スライ	5
保護	6
サムネ	
音量	5
◀ 戻る      OK 設定	



- ◆ 音量を調整すると同時に操作音、シャッター音も調整されます。
- ◆ 音量はリセットしても初期設定に戻りません。



# 機能設定 基本設定メニュー

## 基本設定メニュー

カメラの基本機能を設定します。

1. カメラの電源をオンにし、メニューボタンを押します。
2. 右ボタンを押して「設定メニュー」を表示します。
3. ズームボタンをWまたはT側に押して項目を選択します。



◆ 静止画モードからでも基本設定ができます。

### フォーマット

P.13「メモリのフォーマット」をご覧ください。

### 表示言語(Language) (初期設定:日本語)

液晶モニタに表示する言語を設定します。

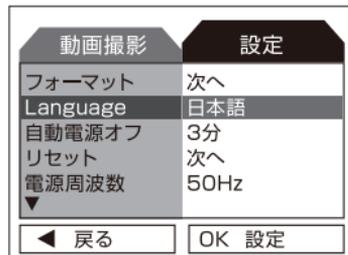
1. 「Language」を選択します。
2. シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. ズームボタンをWまたはT側に押して言語を選択します。

選択可能な言語は、

英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、オランダ語です。

4. シャッター/OKボタンを押して決定します。
5. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

1.



3.





## 機能設定 基本設定メニュー

### ⓧ 自動電源オフ(初期設定:3分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、カメラの電源が自動的にオフになります。

1. 「自動電源オフ」を選択します。
2. シャッター/OKボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ズームボタンをWまたはT側に押し、  
下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
1分：1分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。  
3分：3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。  
5分：5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。  
オフ：自動的にオフしません。
4. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

1.

動画撮影	設定
フォーマット	次へ
Language	日本語
自動電源オフ	3分
リセット	次へ
電源周波数	50Hz
▼	
◀ 戻る	OK 設定

3.

動画撮影	設定
フォー	1分
Lang	3分
自動電	5分
リセッ	オフ
電源周波数	50Hz
▼	
◀ 戻る	OK 設定



## 機能設定 基本設定メニュー

### リセット

カメラの設定を工場出荷の状態(初期設定)に戻します。

1. 「リセット」を選択します。
2. シャッター/OKボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
キャンセル：初期設定に戻しません。  
実行：初期設定に戻します。
4. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

1.

動画撮影	設定
フォーマット	次へ
Language	日本語
自動電源オフ	3分
リセット	次へ
電源周波数	50Hz
▼	
◀ 戻る	OK 設定

3.

動画撮影	設定
フォーマット	次へ
Lang	キャンセル
自動電	実行
リセット	次へ
電源周波数	50Hz
▼	
◀ 戻る	OK 設定



- ◆リセットしても日付/時刻、音量、TV出力方式、手ブレ軽減、セルフタイマは初期設定に戻りません。
- ◆一部のメニュー項目は、リセット後にカメラを再起動すると機能するものがあります。



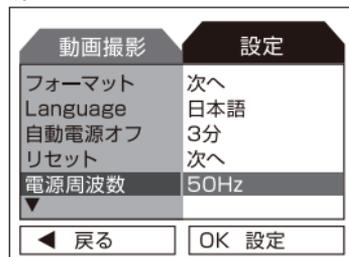
## 機能設定

### 電源周波数(初期設定:50Hz)

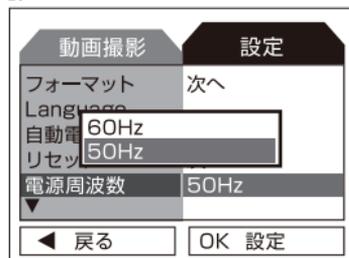
撮影場所によって、正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 「電源周波数」を選択します。
2. シャッター/OKボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
60Hz：電源周波数を60Hzにします。  
50Hz：電源周波数を50Hzにします。
4. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

1.



3.



- ◆ 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。  
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。



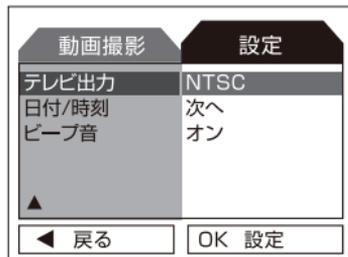
## 機能設定 基本設定メニュー

### ☒ テレビ出力方式(初期設定:NTSC)

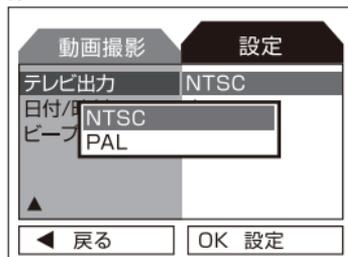
テレビ出力信号をご使用の国・地域に合わせて切り替えます。

1. 「テレビ出力」を選択します。
2. シャッター/OKボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。
  - NTSC : 日本・米国・カナダ・台湾
  - PAL : ヨーロッパとアジア(日本・台湾を除く)
4. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

1.



3.



- ◆ NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れたり、白黒になったりします。
- ◆ 撮影した画像の出力方式の選択です。撮影時には関係ありません。



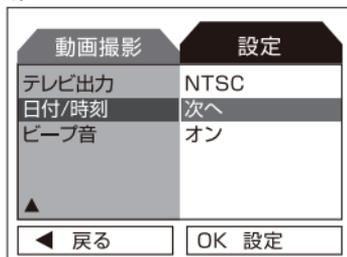
## ▶ 日付／時刻の設定

カメラを使用する前に、日付／時刻を設定します。

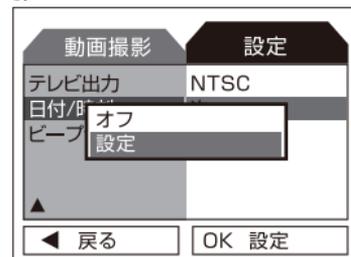
日付／時刻を設定しない場合、間違った時間で記録され、日付プリント等の管理に支障が生じますので必ず設定を行ってください。

1. 「日付／時刻」を選択します。
2. シャッター/OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. ズームボタンをWまたはT側に押し、下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押します。  
オフ：日付／時刻を設定しません。  
設定：日付／時刻を設定します。
4. 選択している数値（緑地の数字）が変更できます。  
ズームボタンをWまたはT側に押し、年月日の表示順序を選択します。
5. 左または右ボタンを押して次の項目に移動し、ズームボタンをWまたはT側に押し、数値を合わせます。  
同様に全ての数値を合わせます。
6. すべての設定が終了したら、シャッター/OKボタンを押して決定します。
7. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

1.



3.



4.



- ◆ 日付／時刻は、初期設定に戻してもリセットされません。
- ◆ オフに設定すると静止画撮影画面に日付を表示しません。

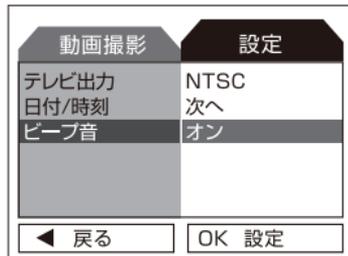


## ▶ ビープ音の設定(初期設定:オン)

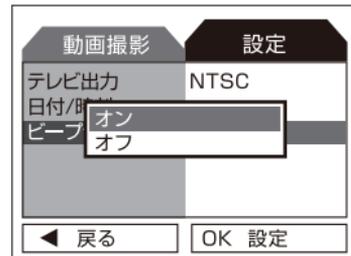
カメラの操作音を設定します。

1. 「ビープ音」を選択します。
2. シャッター/OKボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ズームボタンをWまたはT側に押して、  
下記のいずれかを選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。  
オン：ビープ音が鳴ります。  
オフ：ビープ音が鳴りません。
4. メニューボタンを押して録画画面に戻ります。

1.



3.



◆ ビープ音をオフにするとシャッター音もオフになります。



## 静止画のプリント

### ▶ 静止画のプリント

本機はDPS(ダイレクトプリントシステム)機能を装備していません。

静止画のプリントは、付属のUSB-PC/TV接続ケーブルでパソコンに接続またはSDカードリーダー(別売)を使用して

画像データをパソコンに取り込み、パソコンよりプリンタへ出力してください。

SDカードを直接プリンタに挿入(お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。)してプリントができるプリンタもございます。

SDカードをカメラ店等に持参してプリントする方法もあります。



◆ プリント方法はカメラ店等にご相談ください。

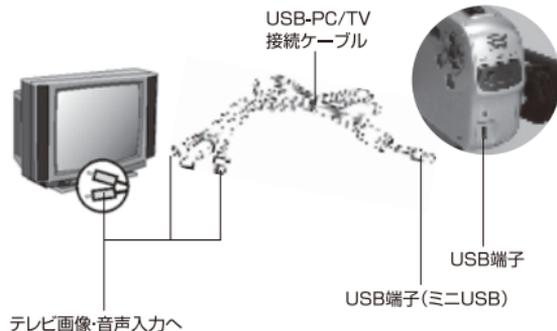


## テレビとの接続

### ▶ テレビとの接続

右図を参考にして、付属のUSB-PC/TV接続ケーブルを使用し、カメラをテレビに接続します。  
テレビで動画・静止画を再生できます。  
あらかじめテレビ方式をお使いのテレビに合わせてください。  
P.46「テレビ出力方式」をご覧ください。

1. 付属のUSB-PC/TV接続ケーブルの小さいUSB端子(ミニUSB)をカメラのUSB端子に接続します。  
もう一方の端子のうち、黄色の端子をテレビの画像入力に。  
白色の端子をテレビの音声入力端子に接続します。
2. テレビの電源を入れ、入力切換をビデオ入力モードにします。
3. カメラの電源を入れ、「再生モード」にします。  
カメラの液晶モニタは自動的にオフになります。
4. 動画および静止画の再生方法は、液晶モニタ使用時と同様です。
5. 終了する時は、カメラの電源をオフにして次にテレビの電源をオフしてからUSB-PC/TV接続ケーブルを外します。



- ◆ テレビ入力端子の場所、使用方法は、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
- ◆ NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れます。P.46の「テレビ出力方式」をご覧ください。

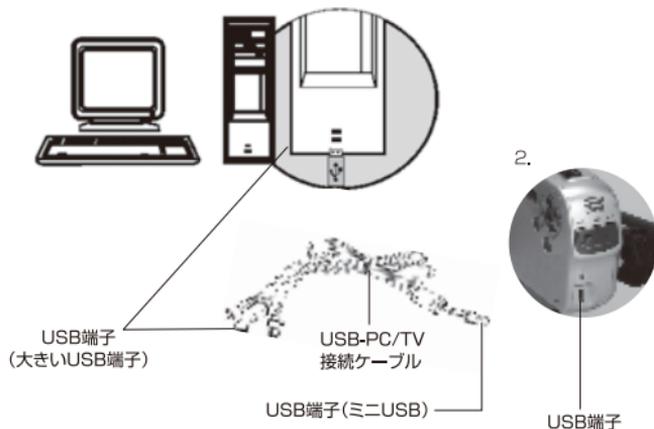


# パソコンとの接続

## ▶ パソコンへ接続する

下記の手順で、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラとパソコンの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC/TV接続ケーブルの小さいUSB端子(ミニUSB)をカメラのUSB端子に接続します。
3. もう一方のUSB端子(大きいUSB端子)をパソコンに接続します。  
カメラの液晶モニターは自動的にオフになります。
4. 初めてパソコンを接続するとパソコンのモニターに「新しいハードウェアが見つかりました」と小さく表示され、しばらくすると「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と小さく表示されます。
5. 「スタート」→「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100DSCIM」の順にクリックしてください。
6. 「100DSCIM」をダブルクリックしてフォルダを開いてください。  
カメラに保存されたすべての動画・静止画があります。



- ◆ USBハブや拡張USBボードで接続した場合、カメラが認識されなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ◆ お使いのコンピュータにより表示が異なる場合があります。
- ◆ USB端子を外す場合は、各OSに適した安全な方法で行ってください。



## パソコンとの接続

### ▶ 転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク]からコピーする際(画像取り込み時)は、USB延長ケーブル、SDメモ리카ードを絶対に抜かないでください。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。  
このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

### ☒ マスストレージ

カメラをパソコンに接続すると、カメラの内蔵メモリまたはSDメモ리카ードのファイルがマスストレージとして表示されます。  
ドライバのインストールは不要です。



- ◆ PC環境、OS等により表示が異なる場合があります。



# ソフトウェアのインストール

## ▶ 付属ソフトウェアの説明

### ⊗ Media Impression

Media Impressionは、動画の再生/簡単な編集および静止画の再生/簡単な補正をします。

### ⊗ Direct X9

動画再生をサポートするソフトウェアです。

## ▶ 付属アプリケーションのインストール

### ⊗ Media Impressionのインストール方法

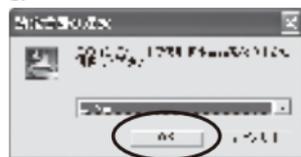
1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。  
自動的にインストール画面が表示されます。表示されない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROMドライブの「autorun」をダブルクリックして開きます。
2. 「Install Media Impression」をクリックします。
3. 「設定言語の選択」が表示されます。「日本語」等を選択して、「OK」をクリックします。
4. 「Media Impression用のInstall Shield Wizardへようこそ」が表示されます。「次へ」をクリックします。
5. 「使用許諾契約」が表示されます。内容を確認して同意する場合は、「はい」をクリックします。

●次ページへ続く

2.



3.



4.



5.





## ソフトウェアのインストール

6. 「インストール先の選択」が表示されます。インストール先を指定して、「次へ」をクリックします。インストールが開始されます。
7. 「プログラム フォルダの選択」が表示されます。フォルダを選択し、「次へ」をクリックします。インストールが開始されます。
8. 「関連付けられたファイル形式」が表示されます。選択し、「次へ」をクリックします。PCを再起動してMedia Impressionを有効にします。
9. 「Install Shield Wizardの完了」が表示されます。「完了」をクリックしてください。PCを再起動してMedia Impressionを有効にします。

6.



7.



8.



9.





# ソフトウェアのインストール

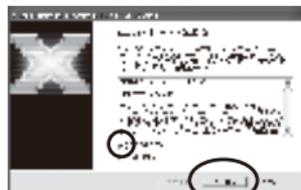
## Direct X9のインストール方法

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。  
自動的にインストール画面が表示されます。  
表示されない場合は、Media Impressionのインストールを参考にしてください。
2. 「Install Direct X9」をクリックします。
3. 「Direct Xセットアップの開始」が表示されます。  
使用許諾契約書をお読みになり、同意する場合は、  
同意しますをクリックしてから「次へ」をクリックします。
4. 「Direct Xセットアップ」が表示されます。  
「次へ」をクリックしてください。  
インストールが開始されます。  
少し時間がかかる場合があります。
5. インストールが完了しましたら、パソコンを再起動して  
ソフトウェアを有効にします。

2.



3.



4.



- Media ImpressionおよびDirect X9は、Windows 7に対応していません。あらかじめご了承ください。
- Windows 7で動画を再生する場合は、Windowsに標準で装備されていますWindows Media Playerを使用してください。



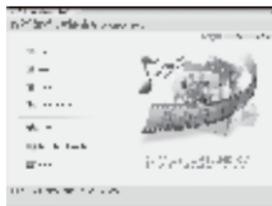
# ソフトウェアを使用する

## Media Impressionを使用する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Arc Soft Media Impression」→「Media Impression」をクリックして立ち上げます。  
デスクトップの「Media Impression」のアイコンをクリックしても立ち上がります。

### 動画ファイルの再生

1. Media Impressionを立ち上げ、「ビデオ」をクリックします。
2. フォルダの中から動画の保存先を選択し、見たい動画ファイルを選択します。
3. 選択した動画ファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。



### 静止画ファイルの再生

1. Media Impressionを立ち上げ、「写真」をクリックします。
2. フォルダの中から静止画の保存先を選択し、見たい静止画ファイルを選択します。





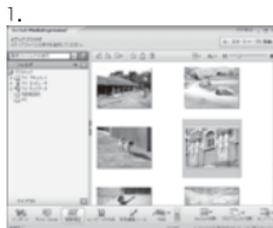
## ソフトウェアを使用する

### ☞ 動画ファイルの取り込み

1. ムービーの作成をクリックします。
2. フォルダから編集するファイルを選択し、ドラッグアンドドロップします。
3. 不要部分のカット、ファイルの接続、タイトルの記入等の簡単な編集をします。

### ☞ 静止画ファイルの取り込み

1. 表示された画像の中から拡大表示または編集する画像をクリックします。
2. ダブルクリックすると拡大表示されます。または下側の項目から「簡単補正」等を選択します。
3. 補正項目を選択し、作業を進めます。



- ◆ 使用方法は、ソフトウェアの「その他」→「ヘルプ」をご覧ください。
- ◆ ファイル形式は、JPEGが最適です。他のファイル形式にすると、ファイルは正しく表示されません。
- ◆ 付属のCD-ROM内の「Media Impression」はバンドル版です。製品版のすべての機能が使用できるわけではありません。あらかじめご了承ください。



# トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

## 📷 カメラ操作時のトラブル

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の残量がないのでは?	新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。(P.9参照)
	電池が正しくセットされていないのでは?	電池の向きを確認して、正しい方向にセットしてください。(P.9参照)
カメラの電源が突然切れる。	電源の自動電源オフ機能が作動したのでは?	電源ボタンを押して、再度電源をオンにしてください。(P.10、43参照)
	電池の残量がないのでは?	新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。(P.9参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外したのでは?	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外さないでください。(P.11、13参照)
セルフタイマを使用中に電源が切れる。	電池の残量がないのでは?	新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。(P.9参照)
焦点(ピント)が合わない。	撮影距離が適正でないのでは?	正しい距離で撮影し、近接撮影の場合はマクロモードを選択してください。(P.16参照)
SDメモ리카ードが使用できない。	SDメモ리카ードがロックされているのでは?	SDメモ리카ードに付いている“ライトプロテクトスイッチ”がロックされていると、データの記録・消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.12参照)
	SDメモ리카ードに、他のカメラで撮影した画像が含まれているのでは?	SDメモ리카ードを本製品でフォーマットしてください。(P.13参照)
すべてのボタンが作動しない。	ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの刺激を受けたのでは?	電池をカメラから取り外し、入れ直してください。(P.9参照)
「カードフル」と表示される	SDメモ리카ードが一杯です。	不要な画像を削除する。 または、新しいSDメモ리카ードをフォーマットしてご使用ください。



# 仕様

## ▶ 記録可能時間／枚数の目安

### ▶▶ 動画

サイズ	SDメモ리카ード		SD/SDHCメモ리카ード	
	1GB	2GB	4GB	8GB
HD	10分38秒	21分16秒	42分32秒	83分04秒
D1	13分58秒	27分56秒	55分52秒	111分44秒
VGA	17分28秒	34分56秒	69分52秒	
QVGA	30分04秒	60分08秒	120分16秒	

### ▶▶ 静止画

サイズ	画質	SDメモ리카ード		SDHCメモ리카ード
		1GB	2GB	4GB
5M	ファイン	1910枚	3820枚	7640枚
	標準	2857枚	5714枚	11428枚
	エコノミ	3961枚	7922枚	15844枚
3M	ファイン	2292枚	4584枚	9168枚
	標準	3431枚	6862枚	13724枚
	エコノミ	5414枚	10828枚	21656枚
VGA	ファイン	9462枚		
	標準	12182枚		
	エコノミ	20305枚		



- ◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能時間／枚数に差が出ます。上記表は目安としてご参考ください。
- ◆上記目安の撮影可能時間／枚数に達する前に電池がなくなる場合があります。



# 仕様

## ▶ 仕様

イメージセンサ	1/2.5型 CMOS
総画素数	508万画素
有効画素数	約500万画素(静止画時)
レンズ	f=8.5mm F2.8
デジタルズーム	8倍
撮影距離	標準:約0.8m ~ ∞ マクロ:約11cm~18cm
液晶モニタ	2.4型 TFT
内蔵メモリ	ユーザ使用可能領域はありません
外部メモ리카ード	SDメモ리카ード :32MB~2GBまで SDHCメモ리카ード:4GB~8GBまで

ファイル形式	静止画:JPEG 動画 :MJPEG(AVI)
動画サイズ	HD :1280×720(30fps) HDサイズですが標準画質です。 D1 :720×480(30fps) VGA :640×480(30fps) QVGA:320×240(30fps)
セルフタイマ	オフ、10秒、2秒
シャッタースピード	1/4000~1/8秒
内蔵フラッシュ	自動、発光禁止、強制発光 有効範囲:約1~2m
電源	単3形アルカリ乾電池(2本)
出入力ポート	USB 1.1/2.0
寸法	約113(L)X63(H)X37(W)mm
重量	約133g (付属品、電池を含まず) 約180g (メモ리카ード、電池を含む参考値)

### ■ 同梱品

カメラ本体、CD-ROM、USB-PC/TV接続ケーブル、ハンドストラップ(取付済み)  
ポーチ、単3形アルカリ乾電池(2本)、取扱説明書、クイックスタートガイド

※付属のCD-ROM内のソフトウェアはWindows 7未対応です。  
Windows 7で動画を再生する場合の対応方法はP.55をご覧ください。



## ▶ パソコンの動作環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(1.1以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
XP(SP2) / Vista(32bit) / 7(32bit)	
CPU	Intel Pentium III 以上
メモリ	64MB以上(512MB以上を推奨)
ドライブ	CD-ROMドライブ4倍速必須
インターフェース	USB1.1/2.0

### 動作保証について

- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- Windows OSをアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。
- USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- Mac OS 10.4以降では動作いたしますがサポート外となります。あらかじめご了承ください。